令和２年１１月２０日

全国歴史教育研究協議会　令和２年度　第１回常任理事会　次第

１　会長挨拶（２ページ）

２　第 61 回研究大会（岩手大会）中止に伴う対応（３ページ）

３　第 62 回研究大会（大阪大会）進捗状況（４−６ページ）

４　第 63 回研究大会（茨城大会）進捗状況（７ページ）

５　事務局より

（１）令和２度役員人事（８−９ページ）

（２）第２回常任理事会

令和３年２月１３日（土）に実施予定です。ただし、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のため、オンライン会議（Zoom）による開催を予定しています。詳細は後日、ＨＰやメール等でご連絡いたします。

（３）その他

・産業遺産情報センターから依頼があり、全歴研ＨＰにリンクをはりました。

６　各県より

・神奈川県より　関東歴史教育研究協議会（関歴研）神奈川大会の実施概要（10 ページ）

７　その他

（ご挨拶）困難を受け止めて前へ～第１回常任理事会に寄せて

全国歴史教育研究協議会
会　長　川瀬　　徹
（東京都立東村山高等学校長）

理事の皆様には日頃から全国歴史教育研究協議会の活動に対して多大なるご理解とご尽力をたまわりまして、まことにありがとうございます。

夏の全国理事会に続き、残念ながら今回の常任理事会も会議を中止し持ち回り審議とせざるをえません。しかし、私たちはいかなる困難にも屈することなく、全歴研の歩みを前進させてまいりたいと存じます。そのためにこれまでの伝統を大切にしながらも新しく変えたり、新しく変わったりする面もでてまいりましょう。もちろん、油断なく慎重に進めねばなりませんが、思い切った試行錯誤を重ねることも覚悟せねばならないと存じます。

新型コロナ感染症の収束が見通せない今ではありますが、この状況を踏まえつつも全歴研としてはこのたびの第１回常任理事会で、一応の見通しをもちたいと存じます。今夏、中止せざるを得なかった第６１回研究大会（岩手大会）についての研究報告（岩手県の研究成果の情報共有）、来夏の第６２回研究大会（大阪大会）については、WEB 会議システムを導入しての大会開催という全歴研はじめての試み、第６３回研究大会（茨城大会）の進捗状況確認、そしてこれらを第６４回研究大会（東京大会）へつなぐため、今回の常任理事会は持ち回りとはいえ、大きな役割を果たすものと存じます。

また、ともすると大会組織運営、会計予算管理などに考えが傾きがちですが、大会テーマとそれに基づく各分科会テーマ及びシンポジウムテーマについても皆で深めていく必要があるのはいうまでもありません。

どうか、理事の皆様方の英知を結集して、この新型コロナ感染症の世界的な拡大という困難な時期を乗り越え、全歴研活動を新しい時代へとつないで行けますよう、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

全国歴史教育研究協議会　第 61 回研究大会（岩手大会）誌上発表について

（１）『全歴研研究紀要第 57 集』作成に係るスケジュール
　経過報告
　11 月 9 日（月）　岩手県高等学校教育研究会歴史部会教員研修会
　　→東北大学大学院経済学研究科教授　小田中直樹先生　講演
　　岩手大会提案者 4 名からの実践報告　　※対象は県内歴部会教員のみ　48 名参加
　11 月中　　岩手大会誌上発表原稿編集・校正作業
　12 月上旬　　岩手大会誌上発表全歴研事務局へ原稿送付予定

　※岩手県高教研地歴公民科『2020 年報社会科研究』に、本県執筆者の発表要旨を転載する。
（２）その他
　ア　次年度大阪大会では、岩手大会の提案者から第２分科会と第４分科会、第５分科会において、発表の機会を頂くことになりました。本当にありがとうございます。
　岩手からの発表者は、以下のとおりです。
　第２分科会　岩手県立岩泉高等学校　古川　剣士
　第４分科会　東北学院大学榴ヶ岡高等学校　多々良　穣
　第５分科会　岩手県立盛岡第一高等学校　梨子田　喬
　　また、茨城大会事務局へは、ご迷惑をお掛けしますが第２分科会か第３分科会で候補を調整中です。

　イ　『研究紀要第 57 集』は岩手大会の開催へ向け、新学習指導要領を踏まえた実践課題についての研究成果です。記念講演から第１～第５分科会まで総て大会に即した内容となっておりますので、全国の先生方には是非ご一読いただき、ご指導願えればと思います。なお、全歴研ＨＰで申込サイトの開設をお願いしたいと思います。岩手大会事務局では 12 月下旬まで、直接の申込を受け付けています。
　申込連絡先：　ptf24-hasegawa-nobuhiro@iwate-ed.jp
　　岩手大会事務局　岩手県立花巻南高等学校　教諭　長谷川伸大

　ウ　全歴研東京事務局への返金は６万～７万円になります。この他、岩手県内で『研究紀要』申込み５０名ほどを予定しており、１０万円を研究紀要代金として振り込む予定です。

岩手大会テーマ　「新しい歴史教育の実践へ向けて
　　～「問い」や「主題」を中心に構成する単元学習の展開～」

記念講演　「世界史とつないで見えてくる日本の歴史
　　―キリスト教宣教師の来日からペリーの来航まで―」
　　東北大学名誉教授　前宮城女子学院大学学長　平川　新　先生

第１分科会テーマ　「新しい歴史教育の実践へ向けて」

第２分科会「歴史総合へ向けた実践～新しい歴史理解の扉～」

第３分科会「日本史探究へ向けた実践～新しい歴史理解に基づく日本史探究～」

第４分科会「世界史探究へ向けた実践～新しい歴史理解に基づく世界史探究～」

第５分科会「新しい歴史学習の実践～高校歴史学習における ICT 活用の工夫～」

第３回全国歴史教育研究協議会理事会資料　　2020．11

全歴研大阪大会実行委員会

１．事務局役員

委員長：石井 研吉（府立長尾高校長、大阪府高校社会（地歴公民）科研究会会長）

副委員長：内田 正俊（府立福井高校長）・布施 真（大阪市立汎愛高校長）・竹下 健治（昇陽高校長）

事務局長：田村 健（府立守口東高）

副事務局長：宮﨑 亮太（関西大学高）

会計：浅田 竜（府立野崎高）

２．期日　　令和３（2021）年 7 月 28 日（水）～7 月 29 日（木）

	10:30	11:00	11:45	13:00	16:30
7/28(水)	受付 (接続時間)	総会 【録画】	昼食	分科会(第１～第５) 【ライブ配信】	

	9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:30
7/29(木)	受付 (接続時間)	全体会 (シンポジウム) 【ライブ配信】	昼食	記念講演 【質疑応答】	閉会行事	

※１時間に 10～15 分程度の休憩を入れる予定

３．大会テーマ　　「今、歴史教育のめざすものを問い直す」

４．分科会・講演会の概要

第１分科会：　「歴史教育に関わる教師の力量はどのように形成されるのか」

―新しい歴史教育に向けて教師の力量形成に果たす研究会の役割―

リーダー：田村健（守口東）、宮崎亮太（関大高）、仙波義規（八尾支援）

パネリスト：中村翼（京都教育大）、土井啓瑛（狭山高）

中村洋樹（四天王寺大学社会学部）、栗山和之（大阪府千早赤阪村教育長）

助言者：峯明秀（大阪教育大学教授）

第２分科会：「歴史総合をどのように学ぶか」→ミニシンポジウムに。

リーダー：田上浩（桜塚高）、小西真里奈（大教大付属平野）

提案者：船波聡子（池田高）、梶木 尚美（水都国際）、岩手枠

第３分科会：「日本史探究をどのように学ぶか」

リーダー：渡邊邦雄（市立南高）、濱田勇輝（市立南高）

提案者：濱田勇輝（市立南高）、寺崎仁樹（愛光学園高）、中野祥利（泉陽高）

助言者：西本昌弘（関西大学文学部教授）

第４分科会：「世界史探究をどのように学ぶか」

リーダー：小川未来（北千里高）、熊原真史（大教大付属平野）

提案者：矢景 裕子（神戸大学附属）、松岡弓弦（ヴォーリズ学園高）、岩手枠

第５分科会：「教科の枠をこえて、どのように歴史を学ぶか」

リーダー：西本貴博（布施工科高）、古田嘉康（交野支援学校）

発表者：前川修一（福岡県立ありあけ新世高）　土居亜希子（御影高校）　皆川雅樹（産業能率大）
梨子田喬（岩手県立盛岡一高）

講演会：山内晋次先生（神戸女子大学文学部教授）　講演テーマ：「鳥島も入っています（仮）
担当者：内田正俊副委員長（福井高校）、飯田千秋（守口東）

＜進捗状況＞［第３回準備委員会 2020.09.18（金）］於：大阪府立高津高等学校

１．事務局から

・発表者への依頼→分科会リーダーより電話依頼および依頼文発送済み（開催形態も確認済）
→内容の調整（12 月末を目処に）

・会場下見　3/28 済（石井、宮崎、田村）

・講演者への挨拶　2/14　飯田、田村で面会。依頼内容の確認→開催形態の変更は了承済み

２．会計

・東京本部より補助金の入金済み→株式会社ネオキャリアと Calling 使用と１年間サポートの契約済

３．開催形態の詳細

①全体

・Web会議システムはCallingを使用（ZoomのWebセミナー方式と似ている）（会場参加は予定なし）
（参加要領、資料のダウンロード方法など詳細を申し込み時のメールアドレスに送信予定）

・大会期間中は関西大学百周年記念会館に本部を設置して大会運営する予定

・テクニカルサポートの費用を参加費に反映させる。参加費は 3000 円の予定。

②各会

・全国理事会　事前に書類の持ち回りによる審議（状況によっては、一部役員の来阪も検討）

・分科会　報告＆質疑をライブ配信

・講演会　講演は録画（事前視聴）、質疑応答はライブ配信（講演者の了承済み）

・視聴者の集中力を考え１時間ごとに 10 分程度の休憩を入れる時程の編成をする。

・発表画面の構成（発表者が映るかどうかなど）は各発表者での統一はしない。

③その他

・各分科会を渡り歩く視聴も可能→しかし、各分科会で時程はそろえない。

・リアルタイム配信後に、１週間程度は録画視聴ができるようにすることを検討

・今後は各分科会で作業をすすめる。本番に備え、オンラインでの会議や発表会に努める。

・研究報告は組版をして PDF で配布する予定。
・報告者からの当日追加資料については参加者がダウンロードして入手できるようにする。

４．実行委員
・各分科会で、司会１名・運営３名（チャット読み、質問整理など）の計４名の人員を配置予定
・今年度末までに実行委員会の配置を行う

５．宣伝・広告
・大阪高等学校社会科研究会の Web ページを活用した宣伝
・地元の大学への宣伝を検討（学割の検討）
・広告協賛金について→休憩時間に教科書会社に動画（またはスライド）による広告を検討する
地元大学にも依頼？

全国歴史教育研究協議会第 63 回研究大会（茨城大会）準備進捗状況報告

令和２年度第１回常任理事会資料

１　日程

令和４（2022）年　７月 27 日（水）総会・第２～第５分科会

７月 28 日（木）第１分科会(シンポジウム)・記念講演

７月 29 日（金）史跡見学

［26 日（火）午後に全国理事会を予定］

２　大会テーマ

「新学習指導要領のもとでの歴史教育」（仮）

３　会場

ホテルレイクビュー水戸（ＪＲ水戸駅南口から徒歩３分）　※ 仮予約済み

４　記念講演

講師は村井章介先生（東京大学名誉教授）

演題は未定

５　分科会構成

第１分科会「主体的・対話的で深い学びについて考える」（仮）

第２分科会「歴史総合の実践～歴史総合で求められる資質・能力を育成するために～」(仮)

第３分科会「日本史探究に向けた実践

～日本史探究で求められる資質・能力を育成するために～」（仮）

第４分科会「世界史探究に向けた実践

～世界史探究で求められる資質・能力を育成するために～」（仮）

第５分科会「新しい歴史学習の実践」（仮）

※第１分科会では、基調講演の後、パネルディスカッションを予定している。講演者については打診中。

※第２～第５分科会の発表者は、各分科会とも、茨城県２名、他県１名の計３名の予定。岩手県からの依頼の件は、大阪大会で発表しなかった方で調整可能。もし大阪大会で出尽くした場合は、第２～第４分科会は近県に依頼し、第５分科会は県内中学校に依頼する予定。

６　史跡見学

茨城県内２コースを設定する予定

令和２年度　全国歴史教育研究協議会役員名簿

	氏　　名	都道府県	勤務先・職名
会　長	川　瀬　　徹	東　京	都立東村山高等学校統括校長
副会長	大　場　　充	東　京	都立稔ヶ丘高等学校統括校長
	吉　藤　玲　子	東　京	台東区立忍岡小学校長
	佐　藤　敏　数	東　京	羽村市立第三中学校長
	長　島　一　浩	神奈川	県立瀬谷高等学校総括教諭
常任理事	坂　本　美知治	岩　手	県立北上翔南高等学校長
	菅　原　一　成	岩　手	県立花巻南高等学校長
	長谷川　伸　大	岩　手	県立花巻南高等学校教諭
	池　田　　実	宮　城	県泉松陵高等学校教諭
	生　駒　忠　夫	茨　城	県立結城第一高等学校長
	新　井　康　芳	茨　城	県立下館第二高等学校長
	辻　　武　晴	茨　城	県立石岡第二高等学校長
	青　木　茂　美	栃　木	県立大田原女子高等学校長
	髙　橋　浩　昭	群　馬	県立前橋東高等学校長
	島　村　圭　一	埼　玉	県立不動岡高等学校長
	韮　塚　雄　一	埼　玉	県立小川高等学校長
	中　村　修　二	埼　玉	県立羽生高等学校教頭
	高　橋　朝　彦	埼　玉	県立熊谷西高等学校教諭
	下　川　　隆	埼　玉	県立川越高等学校教諭
	藤　井　伸　泰	埼　玉	県立熊谷西高等学校教諭
	多　田　万里子	埼　玉	県立熊谷西高等学校教諭
	宮　谷　浩　司	埼　玉	県立浦和北高等学校教諭
	大　野　圭　一	埼　玉	県立越ヶ谷高等学校教諭
	土　屋　徳　郎	千　葉	県立清水高等学校長
	渡　邉　嘉　幸	千　葉	県立館山総合高等学校長
	渡　邊　力　也	千　葉	県立幕張総合高等学校教諭
	澤　邉　和　浩	千　葉	県立木更津高等学校教諭
	渡　邉　政　治	千　葉	県立千葉西高等学校教諭
	深　田　富佐夫	千　葉	成田高等学校教諭
	下　﨑　圭　祐	千　葉	松戸市立松戸高等学校教諭
	澤　野　　理	神奈川	県立逗子高等学校総括教諭
	鍵和田　武　彦	神奈川	県立上溝南高等学校教諭
	中　山　拓　憲	神奈川	県立湘南高等学校教諭
	柴　　泰　登	神奈川	中央大学付属横浜高等学校教諭
	神　田　基　成	神奈川	鎌倉学園高等学校教諭
	高　橋　俊　介	神奈川	県立神奈川総合産業高等学校教諭
	宮　本　久　也	東　京	都立八王子東高等学校統括校長
	糸　井　一　郎	東　京	都立国分寺高等学校統括校長
	佐　藤　文　泰	東　京	都立国立高等学校統括校長

	氏　　名	都道府県	勤務先・職名
常任理事	上　野　勝　敏	東　京	都立調布北高等学校長
	金　澤　利　明	東　京	都立足立西高等学校長
	濱　田　准　一	東　京	都立若葉総合高等学校長
	外　川　裕　一	東　京	都立大山高等学校長
	住　吉　貴　之	東　京	都立大島高等学校長
	南　　和　男	東　京	都立武蔵高等学校長
	今　井　啓　介	東　京	都立墨田川高等学校副校長
	佐々木　義　文	東　京	都立豊多摩高等学校副校長
	佐々木　　巧	東　京	都立大山高等学校副校長
	杉　山　智　子	東　京	都立豊島高等学校副校長
	日下部　陽一郎	東　京	都立秋留台高等学校副校長
	昆　野　弘　幸	東　京	都立江戸川高等学校副校長
	関　山　勝　之	東　京	都立大江戸高等学校副校長
	水　島　伊　彦	東　京	都立五日市高等学校副校長
	佐々木　　純	東　京	都立葛飾商業高等学校副校長
	鈴　木　祐　至	東　京	都立大泉高等学校附属中学校副校長
	三　藤　政　義	東　京	都立南多摩中等教育学校副校長
	石　田　耕　士	東　京	都立第五商業高等学校副校長
	髙　野　祥　一	東　京	都立三田高等学校副校長
	中　家　　健	東　京	都立小石川中等教育学校主幹教諭
	仮屋園　　巌	東　京	都立国立高等学校指導教諭
	宮　部　精　一	東　京	都立小平高等学校主任教諭
	夘　月　　誠	東　京	都立北園高等学校主任教諭
	塚　原　直　人	東　京	都立立川国際中等教育学校主任教諭
	角　田　展　子	東　京	都立青山高等学校指導教諭
	尾　澤　　聡	東　京	千代田区立九段中等教育学校主幹教諭
	風　間　睦　子	東　京	都立日野台高等学校主任教諭
	加　藤　　健	東　京	都立小岩高等学校主任教諭
	野　村　昌　幸	東　京	都立南平高等学校主任教諭
	海　上　尚　美	東　京	都立総合芸術高等学校主任教諭
	村　田　聖　士	東　京	都立武蔵村山高等学校主幹教諭
	太田尾　智　之	東　京	都立大泉高等学校主任教諭
	中　根　利　和	東　京	都立小金井北高等学校主幹教諭
	丸　山　優　介	東　京	都立翔陽高等学校主任教諭
	石　井　研　吉	大　阪	府立長尾高等学校長
	田　村　　健	大　阪	府立守口東高等学校教諭
	森　井　裕　史	兵　庫	県立宝塚高等学校長
	上　田　義　人	兵　庫	県立御影高等学校教諭
	則　武　マサル	岡　山	県立瀬戸高等学校教諭

	氏　　名	都道府県	勤務先・職名
理　事	渋　川　誠　人	北海道	道札幌北陵高等学校長
	森　田　勝　博	青　森	県立大間高等学校長
	佐　藤　　誠	宮　城	県古川工業高等学校長
	近江谷　正　幸	秋　田	県立大曲高等学校長
	大　隅　晃　弘	山　形	県立霞城学園高等学校長
		福　島	
	遠　間　春　彦	新　潟	県立佐渡高等学校長
	山　下　行　雄	富　山	県立大門高等学校長
	西　野　正　洋	石　川	県立寺井高等学校長
	谷　口　康　治	福　井	県立丹生高等学校教諭
	佐　野　　修	山　梨	県立甲府東高等学校長
	小　幡　正　樹	長　野	県丸子修学館高等学校長
	大　矢　　晋	岐　阜	県立本巣松陽高等学校長
		静　岡	
	犬　飼　大　介	愛知（名古屋・瀬戸）	県立長久手高等学校教諭
	鈴木田　吉　規	三　重	県立川越高等学校教諭
		滋　賀	
	毛　戸　祐　司	京　都	府立菟道高等学校教諭
		奈　良	
		和歌山	
	竹　島　一　郎	鳥取（東）	県立鳥取東高等学校主幹教諭
		鳥取（西）	
		島　根	
	田　村　繁　樹	岡　山	玉野市立玉野商工高等学校長
		広　島	
	太郎良　康　幸	山　口	県立光高等学校教諭
	藤　川　卓　司	徳　島	県立海部高等学校長
	濱　野　圭　司	香　川	県立志度高等学校長
	山　下　英　雄	高　知	県立城山高等学校長
	佐々木　恵　次	愛　媛	県立今治東中等教育学校長
	小　山　　潤	福　岡	県立ひびき高等学校長
	平　川　　聡	佐　賀	県立小城高等学校長
	小野下　和　宏	長　崎	県立松浦高等学校長
	粟　谷　雅　之	熊　本	県立御船高等学校長
	野　尻　明　敬	大　分	県立大分豊府高等学校長
	中　岡　陽　一	宮　崎	県立宮崎大宮高等学校教諭
	林　　匡	鹿児島	県立頴娃高等学校長
		沖　縄	

	氏　　名	都道府県	勤務先・職名
会計監査	小　山　公　央	東　京	都立つばさ総合高等学校長
	高　野　修　一	東　京	都立立川国際中等教育学校副校長
事務局長	豊　田　基　裕	東　京	都立大江戸高等学校主任教諭
事務局会計	鈴　木　高　志	東　京	都立八王子北高等学校主幹教諭
事務局	小　粥　久美子	東　京	都立墨田川高等学校主任教諭
	三　好　喜　輝	東　京	都立野津田高等学校主任教諭
	北　村　　拓	東　京	都立日野台高等学校主任教諭
	鳥　羽　顕　司	東　京	都立調布北高等学校主任教諭
	箱　崎　純　一	東　京	都立富士高等学校教諭
	中　莖　和　真	東　京	都立大江戸高等学校教諭

関歴研神奈川大会について

期日：令和３年３月５日（金）９：２０～１７：００（予定）
場所：日本丸メモリアルパーク　帆船日本丸・横浜みなと博物館会議室
　　横浜市西区みなとみらい２-１-１

・研究発表および協議　１０：００～１１：４５（予定）
　　中山拓憲（湘南高校）新谷桂（希望ヶ丘高校）※「テーマ検討中」
・講評（神奈川県教育委員会指導主事）
・講演会　１２：４５～１４：４５（予定）
　　伊藤泉美（横浜ユーラシア文化館副館長）
　　※「テーマ検討中」但し、横浜中華街華僑関連の内容予定
・巡検　１５：００～１７：００（予定）
　　JICA 海外移住資料館など予定（検討中）